

「第5回日本物理学会若手奨励賞（実験核物理分野）候補の募集」

標記の賞について受賞候補の推薦（自薦を含む）をお願いします。また、貴研究機関の関連グループの方々に掲示等でお知らせ下されれば幸いです。積極的な自薦及び推薦をお待ちします。

日本物理学会若手奨励賞（実験核物理分野）
選考委員会委員長 下田 正

記

1. 日本物理学会若手奨励賞（実験核物理分野）
2. 目的： 原子核実験分野で優れた研究を中心的に行い世界的にインパクトのある論文をレフェリー付き雑誌に発表した若手研究者を表彰する。
3. 資格^{*})： 日本物理学会会員で、博士の学位取得後8年以内を原則とする。
4. 審査基準：（1）レフェリー付き雑誌上に発表された論文
（2）共同研究である場合はその研究の完成に果たした対象者の貢献度
（3）当該研究者の将来性
5. 選考方法：核物理委員会のもとに設立された若手奨励賞選考委員会が審査し決定する。
6. 件数： 当面は2件／年以内とする。
7. 表彰方法：（1）賞状を授与する。
（2）日本物理学会年次大会において受賞講演を行なって頂く。
8. 発表時期：物理学会年次大会時
9. その他： 実施の詳細については日本物理学会の若手奨励賞実施要項に準拠するものとする。
10. 推薦・応募書類：（下記書類をそれぞれ5部ずつ）：
 1. 簡単な履歴書、研究歴、業績リスト
 2. 対象となる発表論文および要旨
 3. 推薦書または意見書 1通（審査対象となる発表論文に対する申請者の貢献を詳しく記述してください。）「日本物理学会若手奨励賞応募書類」と封筒に明記すること。
なお、応募書類は返却しません。
11. 候補者推薦の期限：平成22年8月31日（火）必着
12. 書類の送付および問い合わせ先：
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-1
大阪大学大学院理学研究科 下田 正
Phone: 06-6850-5744, Fax: 06-6850-5764,
e-mail: shimoda@phys.sci.osaka-u.ac.jp

^{*}) 原子核談話会新人賞（博士論文賞）を既に受賞された方も応募資格があります。